



医療福祉センター

すくよか



社会福祉法人
大阪府障害者福祉事業団



事業団理念 ともに生きる心を育み ともに歩む社会の実現

すぐよか基本方針

- 重症心身障がい児・者が、社会の一員として尊重され、その人らしくいきいきと生きることができ、安全で快適に暮らせるよう支援します。
- 重症心身障がい児・者の生命の尊厳を守り、健やかな心身の成長発達を支援するため一人ひとりの生活の質(QOL)の向上を目指して、福祉・医療・教育の専門的なサービスを総合的に提供します。
- 重症心身障がい児・者が安心して地域生活ができるよう、地域ニーズに応えられる開かれた施設づくりに努めます。

医療福祉センター「すぐよか」概要

- 開設日 平成19年4月1日
- 定員 入所 105名 [医療型障害児入所施設(18歳未満対象) 療養介護(18歳以上対象)]
短期入所／みなみ棟5名(併設型)、きた棟(空床型)
- 診療科目 10科 [内科、小児科、循環器科、精神科、外科、整形外科、婦人科、耳鼻いんこう科]
[歯科、リハビリテーション科]
- 建物 構造／鉄筋コンクリート造
 - 病棟(きた・みなみ棟)平屋建
 - 診療棟 地上2階建

[建築面積] 4,731.39m² [延床面積] 5,613.01m²

 - 療育棟 平屋建 [建築面積] 868.79m² [延床面積] 803.17m²
- 取り組み 1. 生活重視の福祉施設として
ユニット制を採り入れた小集団での生活を基本とし、利用者の視点に基づいた「住まい」としての形態を重視しています。
2. 福祉と融合した医療機関として
利用者の方の様態を考慮し、適切な医療を提供しています。また、こんごう福祉センター利用者などの健康管理に寄与しています。
3. 在宅ニーズに応える地域拠点施設として
一般診療、短期入所、リハビリテーションなどの多様なサービスの提供を通じて、地域に開かれた施設を目指しています。

児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設と 障害者総合支援法に基づく療養介護

重症心身障がい児・者とは、一般的には、重度の知的障がいと重度の肢体不自由が重複している人たちをいいます。

複合障がいをもつ人たちは、食事・排泄・更衣・清潔など日常生活動作の大部分に介護・支援を必要としています。

寝たきりや極度のこだわり、頻回のけいれんなどにより身体機能の減弱を呈し、容易に感染症を繰り返したり食事摂取が困難となって低栄養状態を生じるなど、障がいがあるが故に生命の危機を伴いやすい状態になっています。

医療型障害児入所施設と療養介護の併設型であるすぐよかは、児童福祉法及び障害者総合支援法上の施設であると同時に、医療法で規定される病院となっており、医療・看護・リハビリテーション・療育・福祉が共同してこのような障がいが重い人たちの生活を支えています。

医療と福祉の融合

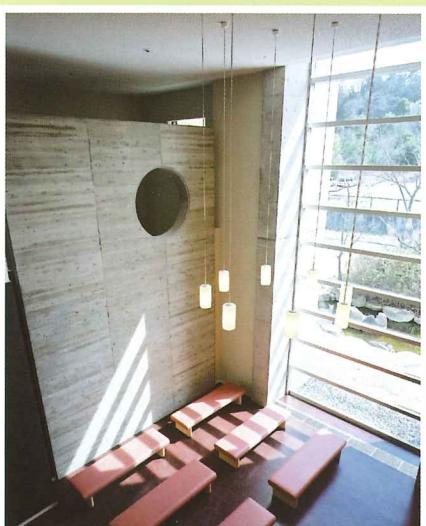
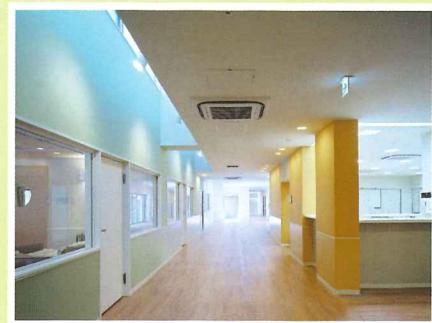
すぐよかは、「医療と福祉の融合」をコンセプトに、生活に即した支援を提供し、健やかな心身の成長発達を支援する施設を目指しています。

知的障がい・肢体不自由以外に、認知症、てんかん、自閉症、情緒障がいなど精神疾患を併せ持つ方々も安心して入所できるよう病床を整備して運営を行っています。病棟は2病棟に分かれています。

きた棟は、行動障がいなどの特別な支援が必要な方々が中心で、病室は個室とし、生活場面全てにおいて構造化された空間を整え、日中支援も構造化されたものを進めています。医療部門との連携で、TEACCHモデルを使用して、自立活動のより広範囲総合的な支援を行っています。

みなみ棟は、移動に支障があり医療ケアが常時必要な方々や、難治性のてんかんなどで常に見守りが必要な方々が中心です。病室は2~4床単位で、病室2~3室で1ユニットを構成しています。リハビリテーションによるQOLの向上を図るとともに、医療の支えを受けながら安心して生活が送れるよう配慮しています。

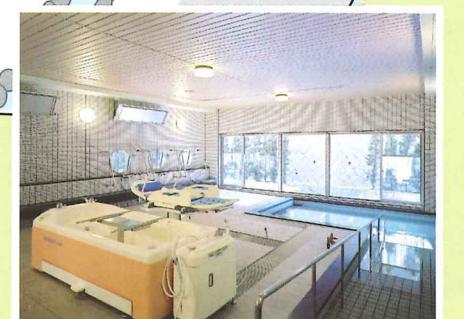




1階
平面図



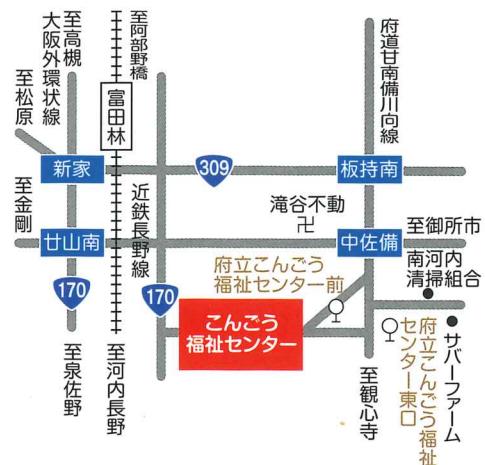
主な日中生活の支援	
感覚・感触・リラクゼーション	スヌーズレン・紙ちぎり・ビデオ・読み聞かせ・マッサージ・外気浴
粗大運動	散歩・乗り物遊び・ボールプール
遊び的取り組み	音楽リズム・楽器遊び・ボール遊び・積み木・パズル
造形的取り組み	絵画・粘土・ビーズ通し
療育的取り組み	園芸作業・自立課題
余暇活動	季節に応じた行事





事業団沿革

昭和44年4月1日 社会福祉法人大阪府精神薄弱者コロニー事業団設立
 昭和45年4月1日 大阪府立金剛コロニー運営受託
 平成5年 4月1日 大阪府立明光ワーカス（現／明光ワーカス）運営受託
 平成7年 4月1日 大阪INA職業支援センター開所
 平成8年 4月1日 法人の名称を社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団に改称
 大阪府立稲スポーツセンター運営受託
 平成13年5月14日 地域生活総合支援センター「ゆう」開所
 平成15年12月 「府立金剛コロニーの今後のあり方について」が示される
 平成15年12月1日 ワークくみのき（現／地域生活総合支援センター／ワークくみのき）開所
 平成18年7月1日 ワークさつき開所
 平成19年4月1日 すくよか開所
 ジョブライフだいせん開所
 平成20年4月1日 かなびのさと開所
 地域生活総合支援センターからら開所
 平成21年4月1日 地域生活総合支援センターおんどう開所
 平成23年4月1日 指定出資法人の指定の解除
 地域生活総合支援センターあい開所
 平成25年4月1日 茨木市立障害福祉センターハートフル運営受託
 平成28年4月1日 こんごう開所
 地域生活総合支援センターいま開所
 平成29年4月1日 大阪府により大阪府立金剛コロニーを
 大阪府立こんごう福祉センターに改称
 かつらぎ開所
 にじょう開所
 大阪府障害者福祉事業団自主運営開始
 平成30年 4月 大阪INA職業支援センターグリーンハーベスト科開所
 地域生活総合支援センター「ゆう」閉鎖
 こんごう・かつらぎ・にじょう所属へ



近鉄長野線富田林駅下車

金剛バス(④番のりば)
 「府立こんごう福祉センター前循環」行き乗車
 「府立こんごう福祉センター前」下車徒歩3分
 または
 「甘南備」、「東阪」行き乗車「府立こんごう
 福祉センター東口」下車 徒歩10分

※バスの乗車時間は20分程度
 便は1時間に1~2本程度



社会福祉法人
大阪府障害者福祉事業団

〒584-0054 大阪府富田林市大字甘南備216番地
 TEL.0721-34-2180 FAX.0721-34-2121
 URL:www.sfj-osaka.net/

医療福祉センター **すくよか**

〒584-0054 大阪府富田林市大字甘南備216番地
 TEL.0721-34-2201 FAX.0721-34-2205